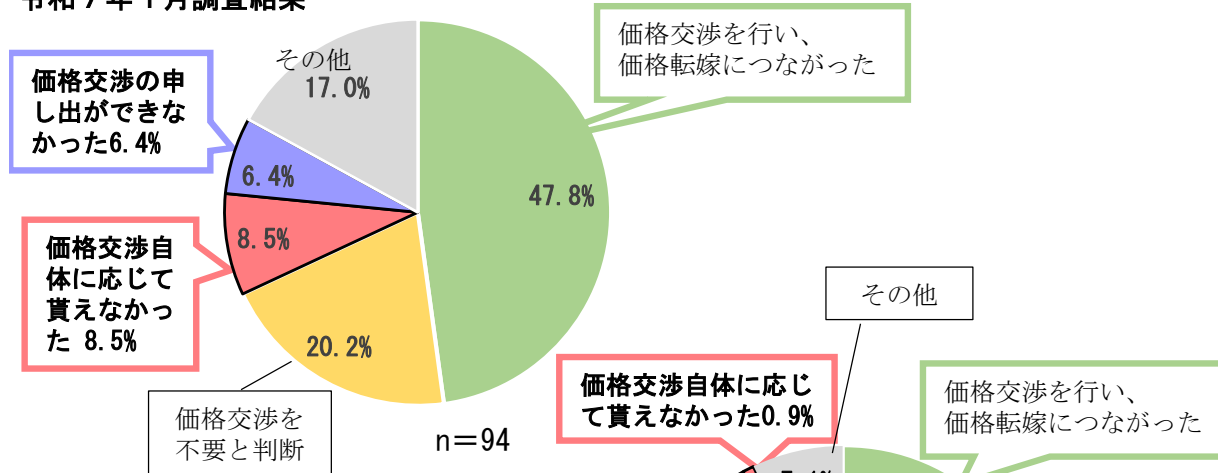


秋田県内の価格交渉と賃上げの状況について

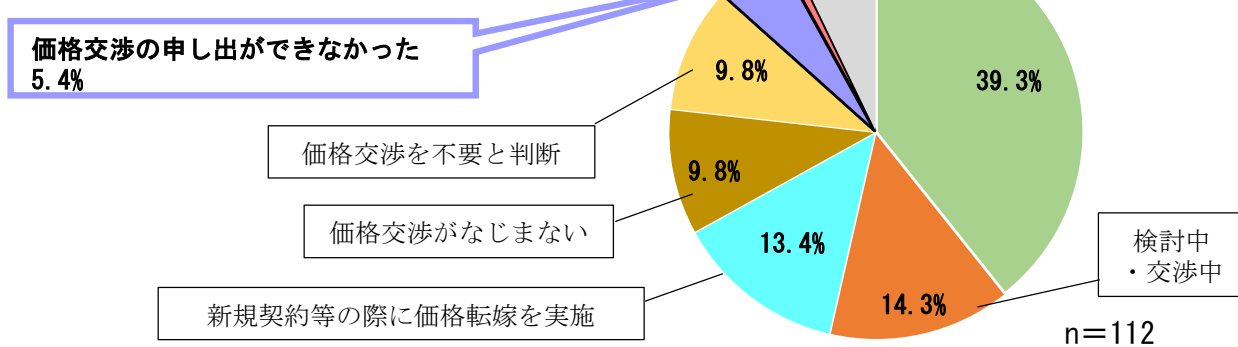
物価高騰等による影響と価格転嫁に関する県内企業アンケート調査結果（県5月調査：対象141社／回答112社）

1 直近6か月における取引先との価格交渉の状況

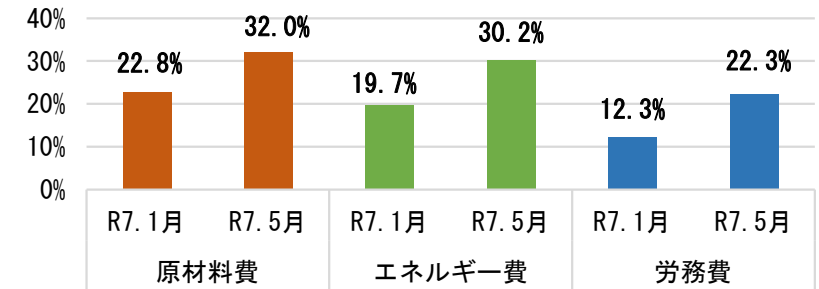
(1) 令和7年1月調査結果



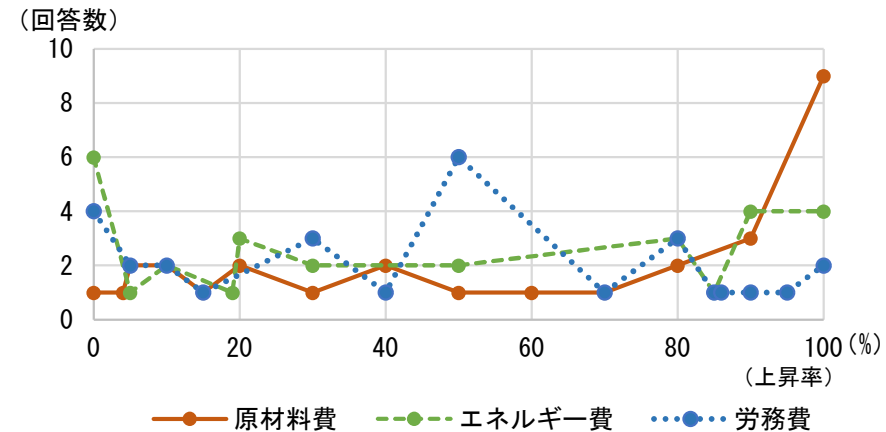
(2) 令和7年5月調査結果



2 令和4年1月頃を基準とした場合の各経費の上昇率



3 「価格交渉を行い、価格転嫁につながった」と回答企業における物価上昇分の価格転嫁率（令和7年5月調査）



<価格交渉と物価の上昇率等の状況について>

- 今年1月の調査の結果と5月の調査の結果を比較すると、「価格交渉自体に応じて貰えなかった」8.5%から0.9%へ、「価格交渉の申し出ができなかった」が6.4%から5.4%へ、それぞれ減少した。
- 物価については原材料費、エネルギー費、労務費、いずれも上昇した。
- 5月の調査で「価格交渉を行い、価格転嫁につながった」と回答した企業のうち、原材料費では転嫁率が50%未満の企業数は12であった一方で、100%の企業数は9で、二極化の傾向が見られる。

<企業からのコメント>

- 昨年来の米の価格上昇率に価格転嫁が追い付かず、価格転嫁後も原価上昇し続けることから再度の値上げがしづらい状況。（小売業）
- 価格転嫁を行えば買い控えが懸念され、大変厳しい。（小売業）

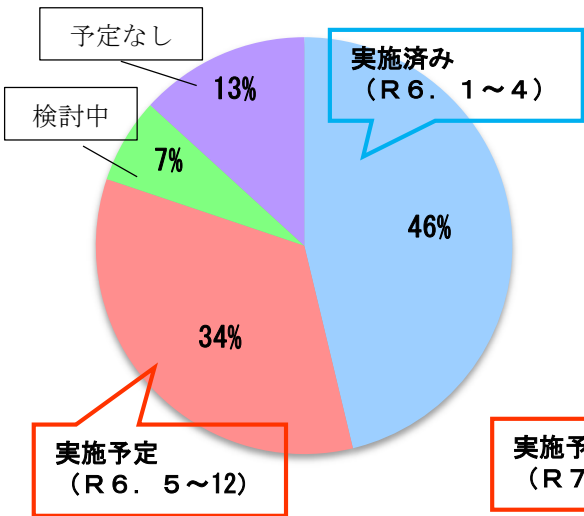
秋田県内の価格転嫁と賃上げの状況について

令和7年7月11日
秋田県産業労働部

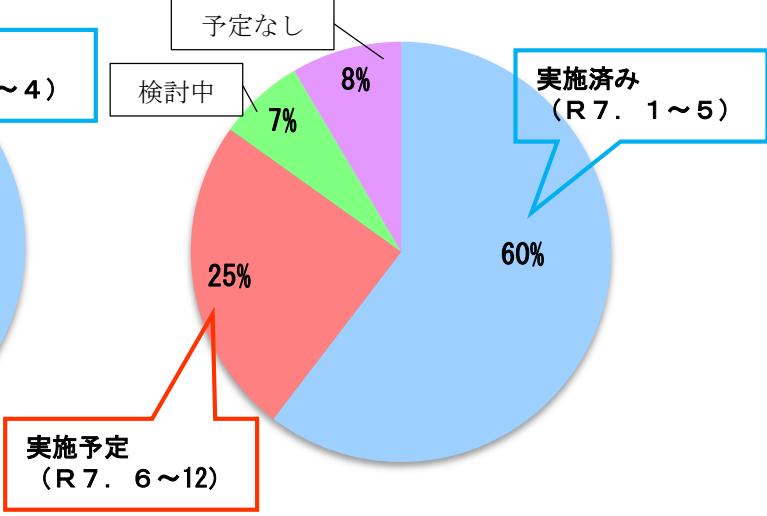
賃上げに関する県内企業アンケート調査結果（県5月調査：対象141社／回答106社）

1 賃上げ状況（予定を含む）

（1）令和6年4月調査結果



（2）令和7年5月調査結果



2 正規雇用者の平均賃上げ率（予定を含む）

平均賃上げ率(%)		①実施済み	②実施予定
	R6年4月調査結果	3.60	3.56
	R7年5月調査結果	3.58	3.33

3 賃上げを実施する（検討する）理由（複数回答）

n=250

回答	回答数	割合
業績向上	11	11.3%
価格転嫁の進展	5	5.2%
従業員の士気高揚・人材定着	82	84.5%
物価上昇への配慮	61	62.9%
人材確保(新規含む)・定着	56	57.7%
賃上げ気運の高まり	20	20.6%
同業他社の動向	10	10.3%
その他	5	5.2%

<賃金の状況について>

- 賃上げを実施済みの企業は、昨年よりも16ポイント増加し、60%であった。また、予定を含めると、85%の企業が令和7年中に賃上げを実施している。
- 平均賃上げ率は、昨年とほぼ横ばいであった。
- 賃上げを実施する（検討する）理由において、「業績向上」と「価格転嫁の進展」は併せて16.5%に留まった一方で、「従業員の士気高揚・人材定着」が最も高い割合（84.5%）であった。